

奉仕プロジェクト委員会

委員長 谷口友保

社会奉仕 担務

リーダー 中森 真紀子

サブリーダー 浅沼洋一、永 滋康、鈴木貞次

担 当 福田栄二、森本勝好、石井達

1. 基本方針

人類への奉仕はロータリーの礎であり、私たちが集う一番の理由と最も大切な目標は、「奉仕」を実践するためである。

社会奉仕を通じて、社会へ貢献するとともに、クラブ内の絆を深め、喜びを分かち合い、経験を通して、組織と会員の成長を目指していきたい。

2. 活動計画

(1) 東京医師会への医療資材寄付企画

コロナウイルス患者治療に日夜努力をされている東京の医療機関への一助として、サージカルマスク 10,000 枚、防護服 60 着、靴カバー60 足、ゴーグル 60 個、消毒薬 50 本を東京医師会へ寄付した。

日時：2019年6月24日

場所：東京医師会

予算：地区補助金を申請する予定

(2) 子ども食堂

保護者が忙しいため、タワーマンションなどで一人きりで食事をしている小学生などは多い。成長期の食事は楽しく、栄養あるものを皆との関わりのなかで過ごしてもらいたい。

港区で4つある。地域社会共同体(RCT)を提案して、子ども食堂を運営できるようなグループを作ったらどうかということを提案していきたい。

日時：未定

場所：未定

予算：未定

協力：NPO 法人あすのば

以上

奉仕プロジェクト委員会

委員長 谷口 友保

職業奉仕委員会

リーダー 大谷 啓子

サブリーダー 浅沼 洋一

委員 鈴木 貞史・金山 驍・藤井 宏章

坂口 航平・福田 英二

活動方針

全世界的な未曾有の事態に直面し、ここ 2.3 年について、クラブ活動そのものの変化が必要な状態になることが予想されている。

この状況下で、ロータリアンとして、高い倫理感を持ち、道德水準において、専門知識を通じて、原点である会員への奉仕活動を実践する。

活動計画

- ① メンバーの専門の職業を通じて、今後の役に立て情報を含め、卓話、火曜会を通じて、ロータリークラブ、また会員への職業奉仕を実践する。
- ② 新時代のロータリー活動としての職業奉仕の在り方を考える
- ③ インターンシップ研修等があれば、協力をする。
- ④ 青少年奉仕委員会との協力で、青少年・学生の道筋に対して、職業上の問題で、奉仕できることなどを研究する。

奉仕プロジェクト委員会

委員長 谷口 友保

青少年奉仕

リーダー 鵜飼 光美

サブリーダー 藤井 宏章

委員 奥野 敦 ・ 出川 敬司

活動方針

奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力育成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって好ましい変化がもたらされることを認識するものである。(標準ロータリークラブ定款第6条)

活動計画

- ① 国際ロータリー青少年交換プログラムに基づき、海外留学生を既に受け入れているホストクラブからの依頼があればサポートを行う。今年度の新規海外留学生の受け入れは、新型コロナの関係により中止。
- ② 地区からの要請があった場合、費用面でも可能な限り、当クラブからの支援ができるよう、会員に働きかける。
- ③ RYLA プログラムへ、当クラブからの参加支援ができるよう、会員に働きかける。
- ④ 奉仕プロジェクト委員会の各部門と連携し、相互的にかつ積極的に活動に参加する。

奉仕プロジェクト委員会

委員長 谷口 友保

クラブ奉仕担務

リーダー 石井 達

サブリーダー 奥野 敦

担 当 西澤 民夫 中森 真紀子 穂苅 裕久

新型コロナウイルス感染症対策が求められていますので、今年度のクラブ奉仕の活動も各種制約条件（直接会えない等）下にて実施することになると思います。

1. 会員の皆様の状況（ビジネスおよび日常生活について）をアンケートなどの手段を用いて調査させていただきたいと思います。

- ・入会時の紹介者が現会員である場合は、その方にもご相談する。
- ・新入会員の場合には、会員選考や研修の担当者にも協力してもらおう。
- ・会員の皆様にご迷惑とならないように、頻繁なアンケート調査やヒアリングは避ける。

2. アンケート調査をするときは、会員の状況把握・意見聴取の必要性が強いと思われるクラブ管理運営委員会、会員委員会、親睦活動委員会とも連絡をとり、まとめて行うよう努める。

3. クラブ奉仕の担い手は、当担務のメンバーというよりはすべての会員としますので、そのような観点に立って進めてゆく。